

「東京湾水質一斉調査への参加について」の質問・回答

Q 1. 観測地点とは公共用水域ですか、または排水口ですか？

A 1. 基本的には、近くの海や河川など公共用水域の測定をお願いしていますが、貴社が通常行っている排水口での測定でも参加可能です。

この一斉調査の取組では、できる限り多くの企業やNPOの皆様の参加を求めています。是非とも御参加ください。

Q 2. 測定日、測定項目をもう少し具体的に教えてください

A 2. 現場での測定作業は8月1日、又は8月1日近辺（8月1日の含まれる1週間）に行っていたら、測定データを可能な限り早く提出頂きたいと考えています。

測定項目は、陸域の河川等では化学的酸素要求量（COD）、水温、流量の3項目、海域では溶存酸素量（DO）、水温、塩分の3項目を共通項目としています。ただし、流量測定が困難な場合は除いていただいて結構です。また、透明度、生物調査についても昨年度に引き続き試験的に取り組んでいきたいので、実施できる場合はお願いします。

排水口での測定は、通常測定していただいている汚濁負荷量の測定項目などで結構です。

Q 3. 測定方法はパックテストなどの簡易測定法でもよいですか？

A 3. 水質汚濁の解析や研究のためのデータはJIS法等による測定が望ましいと考えています。

従って、企業の皆様の参加の場合は可能な限りJIS法等の正規の測定方法により測定ください。しかし、パックテストなどの簡易測定法による参加も可能です。できる限り多くの企業やNPOの皆様の参加を求めていますので、是非とも御参加ください。

Q 4. 指定日に行う生物調査について、去年は試験的实施でしたが、今年はどうに扱いますか？

A 4. 今年も去年に引き続き、推奨調査項目として取扱います。水質と生物生息状況との関係を知るため、8月1日、又は8月1日近辺で実施する水質調査と同時期の生物生息状況のデータを収集したいと考えています。特に定量可能な動・植物プランクトン調査やベントス調査が実施できる場合はお願いします。

また、東京湾全域における生物の生息状況を知るため、8月1日の実施に限らず、今年4～9月頃の生物調査のデータを広く収集する予定です。これについては調査対象とする生物の種類や調査時期・場所を指定しませんので、各調査機関が実施できる内容で実施し報告してください。

Q 5. 透明度調査はどのように行えばよいでしょうか？

A 5. 透明度は、透明度板（セッキー円盤）と呼ばれる直径30cmの白色円盤を水中に沈め、上から見える限界の深さを調べるものです。調査のイメージは国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所のホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/whole/word/suishitsu/item01/toumeido.htm> を御参照ください。透明度の調査には、自作した道具を用いていただいても構いません。また、詳しい調査方法は海洋観測指針（気象庁）に記載されています。なお、調査に際しては、くれぐれも事故のな

いよう御注意ください。

参考ホームページ：<http://www.ecology-kids.jp/research/a05.html>

Q6. 観測地点の緯度経度の調べ方がわからないのですが

A6. 海上保安庁のホームページ <http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/>や、国土地理院のホームページ <http://watchizu.gsi.go.jp/>で調べることができますので、できるだけ各調査点の緯度、経度について度・分・秒で御記入くださいますようお願いいたします。

Q7. 参加人数とはどのように数えれば良いのでしょうか？

A7. 提供頂くデータに関して、採水・分析に携わった方的人数を概数で記載してください。分析を委託されている場合、委託先的人数はカウントしなくて結構です。

Q8. 一斉調査のデータはどのように、公表されるのですか？

A8. 調査により測定されたデータは、原則として誰でも活用できるよう、ホームページ上で公開する予定です。

Q9. データは公表するほかにはどのように利用されるのですか？

A9. 御提出頂いた調査結果は、データベース化し、どなたでも御自由に活用できるようにホームページ上で公開する予定です。また、これらのデータは、国や地方自治体の研究機関、大学等が研究を行う時に利用されることが考えられます。

一昨年度までの調査結果は東京湾環境情報センターのホームページからダウンロードができるようになっています。 <http://www.tbeic.go.jp/WEBGIS/Download01.asp>

Q10. この調査の成果はどのようにまとめられるのでしょうか？

A10. 調査によるデータが収集されましたら、「東京湾水質一斉調査ワークショップ」を開催し、一斉調査参加者と東京湾の環境研究者によって解析を行う予定です。開催概要が決まりましたら、調査参加の皆様へ御案内させていただきますので、是非御参加ください。成果として「東京湾環境マップ」を作成します。

なお、東京湾環境マップや、東京湾再生推進会議のホームページ等の公表資料に掲載するため、調査やイベントの写真を募集しますので、皆様御提供くださいますようお願いいたします。